



▲▼「スヌーピー×日本の匠展」の総合プロデューサー・大谷芳照さん（左）は全国の作業現場に何度も足を運んで職人との関係構築に努めた



▲シュルツミュージアムに永久展示されている、大谷さんとシュルツ氏の合作によるレリーフ

「スヌーピー×日本の匠展」は、5月6日まで都内で開催され、その後、2014年末までに全国各地を巡回する。展示されるのは、陶芸、漆器、透かし彫りや一刀彫、切子細工、織物、和紙、真珠など、日本各地の伝統工芸職人約40人と、この展覧会の総合プロデューサーである大谷さんの作品を含む

### 日本の職人の世界に スヌーピーを迎え入れる

世界中で愛されているビッグルの犬のキャラクター・スヌーピー。これをモチーフにした日本の伝統工芸品の作品展「スヌーピー×日本の匠展」が全国で開かれる。総合プロデューサーの大谷芳照さんは、スヌーピーの生みの親である故・チャールズ・モンロー・シュルツ氏と親交があったアーティスト。日本の「匠の技」を再認識させ、どのように世界に広めていくか。そのヒントを、この展覧会から探った。

## スヌーピーとのコラボで 「匠の技」を世界に発信

### スヌーピー・ジャパネスク制作委員会

近年、海外でも注目を集めている日本の伝統工芸。一方で、優れた技術を持ちながら、需要の減少や後継者不足といった問題も抱えている。今号は、デザイナーやキャラクターとのコラボレーションなど、これまでにない戦略により生まれている伝統工芸の新たな展開を探る。

# 日本 の 伝 統 に 革 新 を

## 特集

取材・笠井尚紀  
末永敬和  
麻生寿  
高橋光二